

# 政策シート (政策名) 都心の都市機能の強化

(予算費目名) 市街地整備事業費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
  - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 市民が集う活力ある都市づくり

## ◇政策の概要

○高次な都市機能の集積を図るとともに、商業、医療・福祉施設、子育て支援施設などの立地を促進することにより都心居住を推進する。  
 ○建物のリノベーションや低・未利用地の活用により、新たな産業の起業・集積を促進し、都心部での雇用を創出するとともに、文化創造の拠点を形成する。

## ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	27,996	494,045
決算	27,227	
人件費(A)	35,000	35,000
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	62,227	529,045

## ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
旭・板屋A地区の進捗率(%)	%	100	目標	0.7	3
			実績	0.7	
リノベーションスクールの検討戸数	戸	30	目標	3	6
			実績	3	
			目標		
			実績		

## ◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

○高次な都市機能の集積を図るとともに、商業、医療・福祉施設、子育て支援施設などの立地を促進することにより都心居住を推進する。  
 ○建物のリノベーションや低・未利用地の活用により、新たな産業の起業・集積を促進し、都心部での雇用を創出するとともに、文化創造の拠点を形成する。

## ◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

○再開発事業については、A地区の現況測量、建物調査を実施した。  
 ○都市機能更新事業は、4回のリノベーションシンポジウムを開催するとともに、1回のリノベーションスクールを開催した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	市街地再開発組合支援事業	○	○	○		501,700	480,000	3.1				
2	都市機能更新促進事業	○		○		27,345	14,045	1.9				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						529,045	494,045	5.0				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート

(事業名) 市街地再開発組合支援事業

## ◇事業目的・事業対象

・旭・板屋A地区第一種市街地再開発支援事業

土地の健全な高度利用と都市機能の更新を図る中で、浜松市の玄関口としての都市拠点を形成し、周辺地区との機能結節を図り、中心市街地の活性化に寄与することを目的として、事業費の一部を補助するもの。

## ◇事業の概要

【重点戦略項目No.9・86】

・A-1地区

地区面積 A=2,035㎡ 建築敷地面積 A=1,098㎡ 建物延床面積 A=8,137㎡

構造規模 RC造 地上18階/地下1階

主な用途 商業施設、高齢者施設、店舗、駐車場(46台)

・A-2地区

地区面積 A=8,165㎡ 建築敷地面積 A=3,405㎡ 建物延床面積 A=42,424㎡

構造規模 RC造 地上30階

主な用途 住宅(228戸)、業務施設、店舗、駐車場(236台)

「浜松市市街地再開発事業費補助金交付要綱」に基づき、補助金を交付する。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	H31	一般会計	自治事務(その他)	都市再開発法 浜松市市街地再開発事業等補助金交付要綱	○	○	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	26,600	480,000
	決算	26,052	
	国・県支出	12,000	234,000
	市債		210,600
	その他		
	一般財源	14,052	35,400
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		18,900	21,700
人工	正規	2.7	3.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
旭・板屋A地区の進捗率(%)				-	9・86
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	0.7	3	40		100
実績値	0.7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
歩行者通行量(休日・主要8地点)(人)				Ⅲ-2(3)ア	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	101,380	103,360		109,300	
実績値	90,313				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
都心の居住人口(人)				Ⅲ-2(3)ア	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	11,700	12,060		13,100	
実績値	11,614				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目No.9・86】

・A-1地区

地区面積 A=2,035㎡ 建築敷地面積 A=1,098㎡ 建物延床面積 A=8,137㎡

構造規模 RC造 地上18階/地下1階

主な用途 商業施設、高齢者施設、店舗、駐車場(46台)

平成27年度の主な事業：現況測量 建物調査

・A-2地区

地区面積 A=8,165㎡ 建築敷地面積 A=3,405㎡ 建物延床面積 A=42,424㎡

構造規模 RC造 地上30階

主な用途 住宅(228戸)、業務施設、店舗、駐車場(236台)

平成27年度の主な事業：現況測量 建物調査

・事業の成果と課題

指標の達成度

A地区の現況測量、建物調査を行った。

提案による主要用途の都市計画変更を行った。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

平成28年度の事業認可に向けて、補助金を交付し、事業の促進を図った。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

平成28年度内の事業認可、権利変換計画作成に向けて、補助金を交付するとともに、必要な指導、事務手続きを行うことで、事業を促進する。

・事業の分類

大分類

細分類

平成28年度

(管理番号)

03 03 05 01 02120000 01

(担当課)

市街地整備課

(責任者)

平野 健次

(作成日)

平成 28 年 7 月 1 日

# 補助シート

(事業名) 市街地再開発組合支援事業

## ◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
9	土地・建物等現況調査 都市計画変更	基本設計 事業計画作成 再開発組合等設立 実施設計	実施設計 権利変換計画作成・認 可 解体工事 建設工事着手	建設工事中

# 事業シート (事業名) 都市機能更新促進事業

## ◇事業目的・事業対象

都市の中心部における、建築物等及び土地の適正な管理及び活用の促進に関し必要な支援を行うことにより、都市環境の安全性の向上と都市機能の増進を図る。

## ◇事業の概要

浜松市都市再生促進地区における建築物等及び土地の適正な管理及び活用の促進に関する条例(略称 浜松市都市再生促進条例)に基づき、都市再生促進地区内の建築物等及び土地の所有者等に対し、指導及び助言等を行うことにより、適正な管理を促す。

浜松市都市再生促進条例に基づき、都市再生促進地区内の空き家、空き床又は空き地の所有者等に対し、リノベーションシンポジウム及びリノベーションスクールを開催することにより、活用を促す。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	—	一般会計	自治事務	浜松市都市再生促進地区における建築物等及び土地の適正な管理及び活用の促進に関する条例	○	—	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	1,396	14,045
	決算	1,175	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	1,175	14,045
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		16,100	13,300
人工	正規	2.3	1.9
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
リノベーションスクールの検討戸数(戸)				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	3	6			30
実績値	3				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)  
03 03 05 01 02120000

(担当課)  
市街地整備課

(責任者)  
平野 健次

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

浜松市都市再生促進地区における建築物等及び土地の適正な管理及び活用の促進に関する条例(略称 浜松市都市再生促進条例)に基づき、都市再生促進地区内の建築物等及び土地の所有者等に対し、指導及び助言等を行うことにより、適正な管理を促す。

浜松市都市再生促進条例に基づき、都市再生促進地区内の空き家、空き床又は空き地の所有者等に対し、リノベーションシンポジウム及びリノベーションスクールを開催することにより、活用を促す。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

管理が不十分な建物所有者(1件)に対しては、適切な指導を行なった。

リノベーションシンポジウムを4回及びリノベーションスクールを1回開催し、3物件の活用策を検討したところ、1件が活用され成果を得た。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

空き家、空き床等の所有者等に対し普及啓発を行い、意識の高揚を図った。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

リノベーションスクール等を増やし、一層の普及啓発を図るとともに、対象となった物件の事業化を促進する。

・事業の分類

大分類

細分類